

香港便

	タイトル	意見等
1	香港線と空港	<p>後藤田知事 お疲れ様です。元県民で、この12月まで徳島県に県民税を払っています。徳島関連の報道を知り以下の2点意見いたします。</p> <p>【香港線赤字補填について】 JNTOの宿泊統計でも、徳島県の90%以上は国内旅客（＝日本人）で残りの数%が外国人の宿泊。そもそもシェア数%しかない外国人マーケットを30%増やすより、日本人のシェアを数%上げることに努力するほうがよっぽど楽だし金もからない。国内旅客ならマナーもいいしイベントリスクも少ない。徳島新聞の報道だと、運休になった香港線も結局91%が外国人旅客だった。（日本人は乗っていない。）私の県民税は日本人の為に使われなかったことになります。</p> <p>【空港民営化？について】 空港の運営権売却を含めた民営化議論をされていると聞きました。民営といえば、オリックスやフランスの会社がやっている関空を見てください。民間が運営するということは当然（グレーターベイと同様）利益を出さないといけない。利益を出すには、駐車場料金を上げる、高額な施設使用料をとる、テナント賃料、発着料を値上げすることになる。これが果たして県民やテナントの為になるのか。羽田空港のような路線が潤沢にある空港ならまだしも、路線が限られている徳島県でこれをやると、賃料等値上げで土産物屋や航空会社が疲弊して撤退、路線が減って客も減れば、当の運営権を持った民間も一向に儲けが出ずに、お手上げ、挙句の果てに運営権転売など、容易に想像がつく。それが中国の企業に買われたらどうします？（目の前が自衛隊基地ですよ） 徳島県はまずは、身の丈を認識し、周りに惑わされず、地に足の着いた地道な政策をすべきです。生産業や工業などいいところが一杯あるのに、世の中の趨勢や【民営化】など流行り言葉に惑わされているような気がしますが、それらは既に効果がない、弊害があることが一部で証明されているのに、一周遅れて追いかけているような気がします。こつこつ地道に儲けて納税している善良な県民が可哀想です。</p>

香港便

	タイトル	意見等
2	徳島県による特定国優遇政策および教育現場への不当介入疑惑に関する厳重抗議	<p>徳島県知事 後藤田正純 様 徳島県教育委員会 御中 拝啓</p> <p>最近の県政の動向に対し、県民として深刻な不信と危機感を抱き、以下の通り厳重に抗議いたします。</p> <p>■ 1. 修学旅行先に特定国（韓国）を強く促す行為について報道されているように、知事が高校生に「修学旅行は韓国へ」と促す発言を行った件は、教育現場の中立性を損なう重大な問題です。学校側は当然「県の意向」と受け取りかねず、教育判断に対する不当な影響を与えます。</p> <p>■ 2. 香港便赤字補填の不透明さ</p> <p>県が香港便の赤字を補填しながら、具体的な金額や契約内容を明らかにしないのは、公金の使途として到底許容できません。説明責任を果たさないまま特定路線を優遇する姿勢は、県民の信頼を損ないます。</p> <p>■ 3. 【重要】なぜ徳島県は特定の国（韓国・中国）との提携・支援を優先するのか修学旅行の韓国推奨、香港便への公金補填という一連の流れを見ると、徳島県がなぜこれまでに特定の外国（主に韓国・中国）との関係を優先しようとしているのか、政策的な合理性が全く見えません。</p> <p>県民に対し、以下を明確に説明すべきです。</p> <p>特定国を優先する理由・根拠</p> <p>その政策が徳島県民全体にどのような利益をもたらすのか国内の教育・観光・産業振興よりも海外施策を優先する理由リスク評価や費用対効果の検証結果「なぜ県民の理解を得ないまま特定国との関係だけ突出して強化しているのか」この疑問に対し、県は一切説明していません。</p> <p>■ 4. 県政の透明性欠如と独断的な施策運用への強い懸念</p> <p>教育現場への干渉疑惑、海外路線支援の不透明性、特定国との過度な連携—これらは「県民不在の政策決定」が常態化しつつあるのではないかという重大な不信を招きます。</p> <p>◆強く要求する項目</p> <p>知事発言の経緯・意図・内容を、公式に明らかにすること 修学旅行の行き先選定への行政的関与を排し、中立性を明確に担保すること 香港便赤字補填について、金額・契約内容・費用対効果を完全公開すること 特定国（韓国・中国）に偏った施策を行う政策的理由を、県民に対して説明すること 県政運営における透明性の確保と、県民への説明責任の徹底 県民が理解できないまま海外施策を優先するような県政運営は看過できません。 誠実かつ具体的な説明と改善を強く求めます。</p> <p>敬具</p>